

地域資源活用が重要

市セミナー 鈴木県立大学長ら講演



大船渡

大船渡市は12日、同市盛

町のリアスホールで国際リニアコライダー(ILC)実現に向け住民の機運醸成を図るセミナーを開いた。参加者はILCの役割と重要性を学び、東日本大震災からの復興が進む気仙地域への波及効果にも理解を深めた。

地域住民ら約550人が参加し、県立大の鈴木厚人学長と、県の大平尚企画理事がILCの計画概要や産業振興について講演した。鈴木学長は誘致に向けた

動きや、自然エネルギーを利用してILCを動かすグリーンILCの概念などを紹介した。

国内外の研究者や工事関係者らが暮らす国際居住圏づくりについては、日本人と同じような生活を望む人が多いと紹介。「地域に今

あるものを最大限活用することが重要だ」と強調した。大平企画理事は、他地域に比べ沿岸を訪れる外国人は少ないとした上で、ILCを呼び込むことで三陸の地場産品を世界に発信できると訴えた。

世界に開かれた気仙地域にするため「港湾をどう使いたいのか、どんなまちにしたいかを自分たちで考え、提案していったほしい」と力を込めた。



ILCの役割や誘致の意義を解説した鈴木厚人学長